

CEOメッセージ

サステナブルな未来へ向けて



代表取締役 兼 会長執行役員 CEO

馬立 稔和

ニコンのサステナビリティ

私たちニコングループは、企業理念である「信頼と創造」を事業活動の中で具現化することで、持続可能な社会への貢献と自社の持続的成長をめざしています。この方針に沿い、現行の中期経営計画(2022～2025年度)で掲げた2030年のありたい姿「人と機械が共創する社会の中心企業」を実現する経営基盤のひとつにサステナビリティ戦略を位置付け、サステナビリティと事業を一体のものとして進めています。

世界では、痛ましい紛争が続いており、また、大きな被害をもたらす自然災害が頻発しています。持続可能な未来をめざす一人として、一刻も早い平和的解決と復興を心より願うとともに、グローバル企業として、私たちの技術やブランド、ネットワークなど、あらゆる力を結集し、人々がより豊かで幸せに暮らせる健全な環境と社会の実現に貢献していきます。

事業で人をより豊かで幸せに

ニコンは創立から100年以上の歴史の中で、光利用技術と精密技術を核として、人が機械を用いて新しい世界を開拓すること、新たな体験や可能性を実現することで、社会に貢献してきました。例えば、顕微鏡は医療や生命科学など、さまざまな分野における研究の進展に、カメラは表現の広がりや心の豊かさにも貢献しています。また、半導体やFPDの製造に不可欠な露光装置は、便利で快適なIT社会の発展を支えています。

社会はいま、インダストリー5.0という新しいステージへの転換期を迎えています。それはまさに人と機械が共創する社会と言えます。私たちは、これまで培った技術や知見を活かして、この転換期に重要な役割を果たすことで、社会をよりサステナブルに、人をより豊かで幸せにしていく決意を持っています。中期経営計画では、この決意のもと、完成品販売中心のビジネスから進化し、完成品・サービス・コンポーネント一体

となったソリューションの提供を強化します。そのうえで、人間の可能性を拓ける「イノベーション」と、人生を豊かにする「クオリティオブライフ(QOL)」の2つの価値提供領域において事業を展開し、「安全・労働環境」「脱炭素」「資源循環」「健康」「心の豊かさ」の領域に貢献することを掲げています。

ものづくりの世界に革新を

これら5つの領域における価値創造を拡大するため、さまざまな取り組みを進めています。そのひとつとして、戦略事業に位置付けているデジタルマニファクチャリング事業においては、世界有数の金属アディティブマニファクチャリングの専門会社であるドイツ SLM Solutions Group AG (SLM) を買収し、2023年9月に完全子会社化を完了。これに先立ち、同年4月には、精密な金属加工のニーズが大きく成長性が高い宇宙航空産業やハイテク企業が集積している米国西海岸に、アディティブマニファクチャリング事業の統括会社である Nikon Advanced Manufacturing, Inc. を設立。ニコンとして、日本国外に事業部本社を設置するのは創業以来初めてです。今回子会社化した SLM、米国の宇宙航空部品向け用途開発を行う Morf3D、そして、ニコンの技術や知見を組み合わせることで、ものづくりの世界に革新をもたらします。

人が育つ会社に

事業や会社の仕組みを大きく変化させる中で、私が特に重要と感じているのは人材です。そこで、私自身がトップとなる HR チームを結成し、どのような人材が必要なのか、事業ごとに求める資質やスキル、その獲得、育成、活躍のための施策について、定期的に検討を続けています。

お客様のビジネスの成功を考えて社内外のリソースを連携させ、最適なソリューションを提案するためには、知識・スキルはもとより、主体性のある人材の集団となるこ

とが不可欠です。ニコンは、会社のめざす方向性や組織の目標を明確に示し、これらに連動した人材戦略を実行することで、多様な従業員がその能力を最大限に発揮できる機会を提供します。同時に、従業員には、その機会を逃すことなく、主体的・継続的にスキルを磨き続ける姿勢を求めます。会社としては、成長に向け努力する一人ひとりを支援し、その成果や貢献に対し、公正かつ公平に報いていきます。従業員が自らとニコンの成長を同時に実感できる組織体をめざしたいと考えています。

さらなる成長をめざして

ニコンでは、取締役会の構成の最適化に向けた議論を重ねており、2023年6月より女性取締役が2名に、社外取締役は半数になりました。2024年6月からは、議長が社外取締役になるとともに、社外取締役が過半数となり、より一層、独立性が担保された構成となりました。

さらに経営体制としては、2024年4月から新たに、徳成旨亮が社長執行役員 COO に就任し、私が会長執行役員 CEO となりました。私が経営方針を決定し、中期経営計画で掲げた2030年のありたい姿の実現に向けて着実な歩みを進めるとともに、徳成には、M&A や設備投資などの成長戦略の遂行とともに、収益管理やリスク管理など、事業運営上の仕組みや基盤の強化などを主導してもらいます。異なるバックグラウンドを持つ2人が両輪となり、ニコンのさらなる成長と社会への貢献をめざします。

ステークホルダーの皆様には、ニコングループにご期待いただくとともに、一層のご支援をお願いいたします。

2024年7月